

# (仮称) 第2期奈良県教育振興大綱の策定について

## 1. 策定の考え方

現行大綱の検証・分析・評価を踏まえ、社会情勢の変化や国の動きなどを加味しつつ、本県が今後取り組むべき施策の方向性を示す  
〈資料2〉

## 2. 策定作業の進め方

○現行大綱の検証（分析・評価・判断） 〈資料3〉

### （1）他律的な変化（P1～P2）

- ・人口減少等社会情勢
- ・国制度の動き

### （2）重要業績評価指標（KPI）の目標達成度（P3）

### （3）施策成果と施策分野ごとの情勢変化の把握（P4～）

#### ①定性的成果の把握

- ・奈良県の教育を取り巻く情勢の変化
- ・学校現場における動き
- ・これまでの取組と成果

#### ②定量的な把握

- ・定性的成果の指標となるデータの確認

### （4）分析・評価・判断

以上をどのように捉えて評価し、今後取り組むべき施策はどのようなものなのか（新規・継続・変更・ステップアップ・廃止）を判断

○第2期大綱に掲げる項目・施策と取組例の素案を提示

〈資料1〉

## 3. 策定に当たつての留意事項

### ○策定のスケジュール（概要）

令和元年（2019）

7月 総合教育会議① 委員による議論  
素案に対して県内教員から意見募集

11月 総合教育会議② 委員による議論

11月 教育サミット 市町村長・市町村教育長からの意見聴取

12月 12月定例会県議会（総務警察委、文教くらし委）  
素案を報告

令和2年（2020）

1月 パブリック・コメント

2月 完成

総合教育会議③ 報告

2月定例会県議会（総務警察委、文教くらし委） 報告

### ○第2期大綱の対象期間について（案）

令和2年（2020）～令和6年（2024） 5年間

### ○第2期大綱の素案の策定

→次回総合教育会議②で議論

(1)大綱の趣旨

(2)本県の教育の現状

(3)基本理念と目指す人間像

(4)施策の基本的方向性

(5)指標の設定（※数値だけでなく、定性的なものも含めて精査）